

## 愛知支部における ジェネリック医薬品軽減額通知サービス(「軽減額通知」)の軽減効果額一覧

「軽減額通知」とは、お薬代の負担の軽減につながるジェネリック医薬品の普及推進のため、処方された新薬(先発医薬品)をジェネリック医薬品(後発医薬品)に切り替えた場合に、お薬代の負担額がどのくらい軽減されるかを試算したお知らせを、一定額以上お安くなる方へお送りするものです。

このサービスは平成21年度から実施しており、平成30年度までの実績は以下の通りとなります。

年度	通知対象条件	通知件数	軽減効果人数 (切替率)	軽減額/月	軽減額/年 <sup>※</sup>	
21年度	▶40歳以上の加入者 ▶軽減効果額200円以上	約8.2万人	約2.3万人 (27.5%)	約3,303万円	約4.0億円	
22年度	▶35歳以上の加入者 ▶軽減効果額300円以上 ▶21年度通知者は対象外	約3.1万人	約0.7万人 (22.7%)	約808万円	約1.0億円	
23年度	▶35歳以上の加入者 ▶軽減効果額300円以上 ▶22年度通知者は対象外	【1回目】 約5.3万人	約1.3万人 (23.9%)	約1,517万円	約1.8億円	合計 約3.0億円
		【2回目】 約2.7万人	約0.7万人 (26.8%)	約1,000万円	約1.2億円	
24年度	▶35歳以上の加入者 ▶軽減効果額は医科400円以上、調剤200円(2回目は400円)以上 ▶23年度通知者は対象外	【1回目】 約5.5万人	約1.4万人 (26.1%)	約1,747万円	約2.1億円	合計 約2.7億円
		【2回目】 約1.6万人	約0.4万人 (25.5%)	約541万円	約0.6億円	
25年度	▶35歳以上の加入者 ▶軽減効果額は医科400円以上、調剤250円(2回目は400円)以上	【1回目】 約8.2万人	約2.0万人 (25.0%)	約2,654万円	約3.2億円	合計 約5.1億円
		【2回目】 約3.2万人	約1.0万人 (29.7%)	約1,612万円	約1.9億円	
26年度	▶35歳以上の加入者 ▶軽減効果額は医科600円以上、調剤150円以上	【1回目】 約9.6万人	約2.8万人 (29.0%)	約4,135万円	約5.0億円	合計 約9.3億円
		【2回目】 約9.2万人	約2.5万人 (27.6%)	約3,641万円	約4.4億円	
27年度	▶35歳以上の加入者 ▶軽減効果額は医科600円以上、調剤100円以上	【1回目】 約10.3万人	約3.0万人 (29.1%)	約4,187万円	約5.0億円	合計 約11.1億円
		【2回目】 約11.0万人	約3.4万人 (31.0%)	約5,076万円	約6.1億円	
28年度	▶20歳以上の加入者 ▶軽減効果額は医科600円以上、調剤100円(2回目は50円)以上 ▶対象診療月を従来の1ヶ月分から2ヶ月分に拡大	【1回目】 約17.9万人	約4.6万人 (25.6%)	約6,408万円	約7.7億円	合計 約15.4億円
		【2回目】 約16.9万人	約4.5万人 (26.7%)	約6,452万円	約7.7億円	
29年度	▶20歳以上の加入者 ▶軽減効果額は医科600円以上、調剤50円以上 ▶対象診療月は2ヶ月分	【1回目】 約20.8万人	約5.8万人 (27.9%)	約8,990万円	約10.8億円	合計 約25.2億円
		【2回目】 約19.7万人	約6.9万人 (35.0%)	約1億2,006万円	約14.4億円	
30年度	▶20歳以上の加入者 ▶軽減効果額は医科600円以上、調剤50円以上 ▶対象診療月は3ヶ月分	【1回目】 約22.0万人	約6.1万人 (27.9%)	約8,451万円	約10.1億円	合計 約19.2億円
		【2回目】 約16.8万人	約5.1万人 (30.2%)	約7,573万円	約9.1億円	
累計		約192万人	約55万人 (28.4%)	約8億101万円	約96億1,200万円	

※軽減額/年:軽減額(月)×12ヶ月(単純推計)